

出願者数及び出願倍率について

宮城県教育委員会

記者発表資料

令和7年5月28日(水)

教育庁教職員課

担当 氏家 三男

電話 022-211-3635

E-mail kyosykn@pref.miyagi.lg.jp

1 採用予定人数及び出願者数・出願倍率について

令和8年度(令和7年度実施)採用候補者選考

校種	小学校	中学校	中・高	高等学校	養護教諭	栄養教諭	計
採用予定 人数 (昨年度)	140名程度 (地域枠、特別支 援学校枠含む) (210名程度)	70名程度 (特別支援学校 枠含む) (100名程度)	中学校・高等 学校採用予定 人数に含む (特別支援学校 枠含む)	90名程度 (特別支援学校 枠含む) (90名程度)	10名程度 (10名程度)	若干名 (若干名)	310名程度 (410名程度)
出願者数 (昨年度)	304名 (334名)	285名 (285名)	286名 (318名)	353名 (331名)	154名 (156名)	13名 (2名)	1,395名 (1,426名)
出願倍率 (昨年度)	2.2倍 (1.6倍)	4.1倍 (2.9倍)	—	3.9倍 (3.7倍)	15.4倍 (15.6倍)	—	4.5倍 (3.5倍)

※中・高とは、中学校、高等学校の区別なく一括して採用する区分で、保健体育、音楽、美術、家庭の各教科が該当します。

※中・高の倍率については教科の配置数、栄養教諭については配置数が確定した段階で倍率が確定します。

2 出願状況の特徴について

(1) 出願倍率は昨年度より1.0ポイント上昇

全体の出願者数は減少したものの、全体の出願倍率は4.5倍となり、昨年度から1.0ポイント上昇した。

(2) 県内大学の新卒出願者数増加

新卒者の全体の出願数は525名となり、昨年度より41名減少したものの、県内大学からの新卒出願者数は昨年度より15名増加して339名となり、新卒出願者に占める県内大学からの出願者数の割合は64.6%と昨年度より7.4ポイント上昇した。県内の大学生には対面での説明会や個別相談を実施し、教職の魅力発信や本県の働き方改革の取組などを紹介しており、このような取組により増加につながったものと考えられる。

一方、出願者数が減少した県外の大学生への働きかけについては、これまで県内の大学生を対象としていた「学校インターンシップ」を今年度から県外大学生にも拡充するとともに旅費を補助することで参加しやすくするなどの取組を予定している。

3 採用選考日程・会場

○第1次選考 令和7年7月12日(土曜日)

宮城会場 仙台二華中学校・高等学校、工業高等学校、第二工業高等学校

東京会場 東京大学駒場キャンパス

○第2次選考 令和7年8月27日(水曜日)から29日(金曜日)、

及び9月2日(火曜日)・3日(水曜日)のうち1日

実技試験9月4日(木曜日)

会場 総合教育センター